

【準決勝・弘学聖愛—工大—】5回工大—  
2死一、二塁、杉山翼が左越えに3点本塁  
打を放つ=25日、弘前はるか夢

【準決勝・八学光星—青森山田】青森山田  
打線を6安打完封した八学光星の先発洗平  
比呂



# 決勝は工大—VS八学光星

第105回全国高校野球選手権青森大会は25日、弘前はるか夢球場で準決勝2試合が行われ、八戸工大—と八戸学院光星が決勝に進んだ。両校による「八戸対決」は2年連続。阪神甲子園球場で行われる全国大会出場を懸け、27日に激突する。【12、13ページに詳報】

第1シードの工大—は弘学聖愛と対戦。五回に杉山翼の3点本塁打でリードを広げると、2年生エース・金淵光希が完投し、6—3で逃げ切った。

八学光星は2年生左腕の洗平比呂が先発し、青森山田打線を6安打完封。バッテリー

## 高校野球青森大会 2年連続八戸対決

を組む藤原天斗がソロ本塁打を含む3打点で5—0の勝利に貢献した。

工大—八学光星の頂上決戦は、春季青森県大会の決勝と同じカード。春は勝利を飾った工大—の長谷川菊雄監督は「総力戦で行く。相手は攻撃力のあるチームなので対策を練りたい」と意気込みを語った。

夏連覇を目指す八学光星の仲井宗基監督は「工大—は打力というより攻撃力にたけたチーム。守備力もあるので、先に転ばないようになりたい」と話した。

決勝は27日午後1時から、弘前はるか夢球場で行われる。

（取材班）